

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー京橋教室		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 9日		2024年 8月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	2024年 7月 9日		2024年 8月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者さまの満足度が高い。	フィードバックや面談の時間を丁寧に設けることや相談内容を適宜面談記録に記載する、また朝終礼での共有を実施し、支援の質の向上につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者さまへ伝える際は必要に応じて紙面を用いて理解を促すことも実施していく。 ご家庭で取り組めることをより具体的にお伝えしていく。
2	お子さまのことを理解し、お子さまと保護者さまのニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成できている。	活動記録の参照やアセスメントシートの活用を行い発達段階や多様な場面でのお子さまの様子について聞き取りを行いながら計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> 園やその他関係機関との連携を強化していき、お子さまやご家族の様子を把握できるようにしていく。 ご家庭での様子についてもより聞き取りを丁寧にやっていく。
3	個別支援計画を基に、保護者様へ支援内容等の説明ができています。	個別支援計画の交付時は、支援内容を具体的に順序立てて説明するようにしている。また、支援のフィードバック時にも、計画に関する指導員の関わりや意図をお伝えするように心がけている。	具体例を用いてよりイメージしていただきやすいような説明を心がける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者さま同士の交流ができる場面が少ない/あるかわからないと感じられている方が多い。	ハッピー教室全体でオンライン家族支援の実施や教室独自のイベントを実施しており、掲示にて周知させていただいている。掲示だけではイメージしていただきにくいことや気付いておられない方もいることが考えられる為、周知方法について検討していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 掲示する際に口頭での説明を支援担当職員が実施していく。
2	避難訓練をいつ行っているかどのように行っているか等について、分からない方がいる。	避難訓練の報告については掲示にて行っていることもあるが、掲示だけでは気づかれないこともあると考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> 掲示する際に口頭での説明を支援担当職員が実施していく。 定期的に不安を感じておられることがないか確認を行うようにする。
3	教室のことについてSNSでの発信場所がわからない/発信が少ないと感じられている方がいる。	ブログにて支援内容や日々の様子などについて発信を行っているものの、利用者さまに対して発信していることの周知を積極的に行っていない。(掲示は常に行っている)	利用者さまに有益な情報となと思われることについては共有できるようにしていく。